

教会学校 教案ガイド

教師メモやメッセージアウトラインを読む前に必ずディボーションをしましょう。

1. みことば

祈りながら今週のテキスト(聖書箇所)を何度も繰り返し読んでください。また、今週の暗唱聖句を決定して、覚えましょう。

2. 主題の読み取り

今週のみことばの中心テーマを自分のコトバで、1つの文章にまとめて書きあらわしましょう。

例 ○:イエスさまは、弟子たちがイエスさまを救い主と信じるように
カナで奇跡を行いました。(×:カナの婚礼と奇跡)

3. 教えられたこと

今週のみことばを通して、神さまがあなたに語ってくださったことを書きあらわしましょう。

4. メッセージの作成

◇「教師ノート」と「メッセージアウトライン」を参考にしてください。

◇注意深く聖霊さまの導きに従いましょう。

教会教育部公式サイト <http://ce.ag-j.or.jp/>

教会の働きのためにご自由にお使いください。営利目的での使用は禁じます。
すべての内容の著作権は、日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団教会教育部にあります。

教 師 ノ ー ト

日付	2021年 3月28日
単元	イースター
テーマ	十字架
タイトル	十字架につけられたイエス様
テキスト	ルカ23:26-49
参照箇所	マタイ27:32-56、マルコ15:21-41、ヨハネ19:17-30
暗唱聖句(教会で使用している聖書訳を記入して下さい)	ルカ23:34
AG 日曜学校教案参照箇所	

□導入

イエス様はオリブ山で逮捕されて、不当な裁判によって死刑となっていました(ルカ22:39~23:25)。今日は、罪のないイエス様が十字架につけられたお話です。

□ポイント1 イエス様は十字架につけられました(26-38)

イエス様は、エルサレムの町から少し離れた「ゴルゴタ」と呼ばれる丘に向かって歩いていました。ゴルゴタの丘は、イエス様が十字架につけられる場所です。ローマの兵隊たちに囲まれながらイエス様は歩いていました。

イエス様が十字架を背負って歩くのです。その姿を見ようと、たくさんの人たちがついて行きました。ある人は笑っています。またある人は怒っています。またある人は、とても悲しんでいました。ローマの兵隊たちは、イエス様を十字架に釘づけするために歩いています。二人の強盗も一緒に十字架につけられようとしています。それから、イエス様のうしろに、悲しみながら歩く小さなグループがありました。それはイエス様の友だちで、ついて来たのはほとんどが女の人でした。この人たちは泣いていましたが、イエス様は泣いてはいけなと言われてました。

ローマの兵隊たちは重い十字架をイエス様にかつがせましたが、イエス様は少し歩くと、この重い十字架の下敷きになって倒れてしまいました。イエス様の背中には、むちで打たれた深い傷がありました。十字架を背負うと、その傷に十字架がくい込みました。イエス様は、その痛み到我慢出来なかったのです。それにとっても疲れ弱っておられたので十字架の重みに耐えられなかったのです。

一人の兵隊がイエス様の倒れるところを見て、この十字架を他の人に背負わせました。十字架を背負わされたのは、丁度そこを通りかかったクレネ人のシモンという人です。シモンさんは、兵隊に「おい、ここに来て、このユダヤ人の王を助けてやれ。」と言われてました。シモンさんは、黙って兵隊に従い、身をかがめて、重い十字架をイエス様の背中から移し、自分が背負ったのです。それはシモンさんにも苦しいものですが、シモンさんは何も言いませんでした。

ゴルゴタの丘に着いた時、ローマの兵隊はイエス様を十字架につけました。イエス様は重い木の十字架に釘づけにされました。十字架は地面に掘った穴に立てられました。兵隊たちは十字架の苦しみを取るために、イエス様に酔いぶどう酒を飲ませようとしてました。けれどもイエス様は飲もうとなさいませんでした。

イエス様を十字架につけたあと、二人の強盗も一人ずつイエス様の両側の十字架につけられました。イエス様の頭の上に「これはユダヤ人の王」と書いた札がかけられました。

□ポイント2 イエス様は十字架の上で祈られました(39-43)

イエス様を憎む人たちは、十字架につけられているイエス様を眺め、からかったり、いろんな悪口を言ったりしました。そして「おい、他の人を救うことができても、自分自身を救うことが出来ないのか。」あれがイ

スラエルの王だって。王様ならいま十字架からおりてみろよ。そうしたら信じよう。」と言いました。人々は大事なことを知りませんでした。それは、イエス様はご自分を救うことが出来るけれど、みんなの罪が赦されるために身代わりで死なれる。ということです。また、イエス様をバカにして、ののしることがどんなに恐ろしいことかもわかりませんでした。

イエス様は十字架にかかっている間どんなに苦しまれたことでしょうか。釘が手に打ち付けられ、血は地面に流れ落ちました。でもイエス様はこの人たちのことを思って、「父よ、彼らをおゆるしてください。彼らは何をしているのか、わからずにいるのです。」と言われました。

また、イエス様と一緒に十字架につけられた犯罪人が、イエス様のことをバカにしました。しかし、もう一人の犯罪人は、「お前は何を言ってるんだ。おれたちは自分がした悪いことのために十字架につけられたんだ。でも、この方は悪いことを何もしていない」と言いました。それからその人は、イエス様に向かってお願いをしました。「イエス様。天国にいらっしゃったら、私のことを思い出してください。」この人は、自分がした悪いことを認めて、イエス様を救い主だと信じたのです。イエス様はその人に、「あなたは今日わたしと一緒にパラダイスにいます」と約束なさいました。イエス様を救い主と信じるならば、どんなに悪いことをした人でも、心からおわびをすれば無条件で赦され、主と共にいることができるのです。

□ポイント3 イエス様は十字架の上で息を引き取られました(44-49)

十字架につけられてから死ぬまでは、何時間もかかりました。真昼だと言うのに夜のように真っ暗になりました。イエス様は最後に大声で「父よ、わたしの霊をあなたにおまかせします」と叫んで、息を引き取られたのです。

一人の兵隊が、イエス様のわき腹に槍を刺して、確かに亡くなっていることを確かめました。イエス様が死んだ時、不思議なことがおこったのです。エルサレムの神殿の幕が上から下まで裂けたのです。これはイエス様が救い主だということを神様が人々に示したしるしです。人々が罪を許される方法は、この救い主であるイエス様を信じることだけです。

十字架の出来事を最初から最後まで見続けていた百人隊長は、イエス様が本当に正しいお方であったことを認め、神様をほめたたえました。

□結論

罪のない正しい方であったイエス様は、罪人の身代わりとなって罰を受けるという使命を、十字架につけられることによって果たされました。

□適用（聞き手に最もふさわしい適用が与えられるように祈りましょう）

イエス様が十字架にかかって下さったのは、私たちを罪から救うためでした。ですから、イエス様のことを「救い主」と言うのです。教会に十字架があるのも、それを見て私たちが神様に感謝するためです。みなさんは、イエス様を自分の救い主として信じますか。神様に赦していただきたいことがあったら、いまお祈りしましょう。神様は、どんな人の罪も赦して、天国に行く約束を与えてくださいます。

教 師 ノ ー ト

日付	2021年 4月 4日
単元	イースター
テーマ	復活
タイトル	復活の朝におこったこと
テキスト	ルカ24:1-12
参照箇所	マタイ:28:1-10、マルコ16:1-8、ヨハネ20:1-10
暗唱聖句(教会で使用している聖書訳を記入して下さい)	ルカ24:6
AG 日曜学校教案参照箇所	

□ 導入

今日はイースターです。イースターおめでとうございます。ところでイースターというのは何の日か知っていますか？それは、イエス様が死から復活したことをお祝いする日です。今日はこの復活の出来事についてお話しをします。

□ ポイント1 女の人たちはイエス様のお墓に行きました(1-2節)

先週お話ししたように、イエス様は十字架につけられ殺されてしまいました。イエス様はそのあとどうなったのでしょうか？実は亡くなったイエス様のお体は、議員の一人でヨセフという人が引き取りました。そしてその体は、岩を切り抜いたお墓の中に置かれました。体は白い布でぐるぐるに巻かれたのでした。本当ならば、身近にいた弟子たちがしなければならないことなのに、彼らは怖くなって逃げてしまったのです。

イエス様のお墓の入り口には大きな石が置かれていました。イエス様がお墓に納められた金曜日の夕方から安息日が始まりました。安息日は、すべての仕事を休んで静まって神様のことを思うようにと定められた日です。遠くまで出歩くことも許されていませんでした。イエス様に従っていた女の人たちは、安息日が終わったらイエス様のお墓に行こうと準備をしていました。この女の人たちは、大好きなイエス様が十字架にかけられた時、泣きながら遠くで見守っていた人たちです。そして、イエス様が葬られる時、お墓までついて行って場所を覚えておきました。大好きなイエス様のために出来る限りのことをしてあげたいと思ったからです。彼女たちは、イエス様のお体に香りのよい油を塗りに行くことにしました。日曜日の朝、まだ暗いうちにお墓に向かいました。

でも、ちょっと心配なことがありました。イエス様のお墓の入り口には、大きな石がありふさがっていたのです。女の人々の力では、とても動かすことができないほど大きくて重い石です。「だれか石をどかしてくれるといいんだけど。」そんなことを話していました。お墓に着いたところで、自分たちには何もできないことを知っていたと思います。しかし女の人たちは、イエス様が大好きでしたから、お墓へと足を運ばずにはいられなかったのです。丁度、太陽がのぼる頃、女の人たちはイエス様のお墓に到着しました。

□ ポイント2 イエス様のお体はお墓にはありませんでした(2-8節)

お墓に着いた女の人たちは驚きました。なんと入り口の大きな石がわきに転がっていたのです。「いったいだれが転がしたのでしょうか。」彼女たちは不思議に思いました。そして恐る恐る墓の中をのぞき、中に入りました。なんとびっくりです。イエス様のお体がありませんでした。そこにはお体に巻いてあった布が置いてあるだけでした。いったいどういうことでしょうか。女の人たちは、お墓の中が空っぽなので、どうすればいいのかわからないでいました。

その時、光り輝く衣を着た二人の人が近づいてきました。女の人たちは怖くなって、地面に顔を伏せました。その人たちは天使でした。天使はすばらしい知らせを告げたのです。『イエス様は生きていらっしゃるの

に、どうしてお墓の中を探すのですか。無駄なことですよ。ここにはいらっしやいません。イエス様はよみがえったのです。ガリラヤにいる頃、イエス様がお話しされたことを思い出さない」さらに、「イエス様ご自身が、『わたしは十字架につけられ、三日目によみがえる』とおっしゃっていたでしょう」と言いました。婦人たちはイエス様のおことばを思い出しました。確かにイエス様は、ご自分の十字架と復活のことをおっしゃっていました。でもそのことを聞いた時には、イエス様のおことばの意味がわかりませんでした。しかしイエス様がおっしゃったとおりになったのです。

□ポイント3 女の人たちは急いで弟子たちに伝えました(9-12節)

女の人たちは急いで弟子たちのもとに向かいました。そしてこのすばらしいニュースを知らせました。「みなさん、イエス様はよみがえりました。今、お墓に行ったら、天使があらわれ、そう言っていました。」それを聞いて、弟子たちはどうしたと思いますか。この素晴らしいニュースを弟子たちはすぐに信じなかったのです。

「そんなことがあるわけない。何をくだらないことを言ってるんだ」と、いくら本当だと言っても、「そんなバカな。生き返るなんて信じられないよ」

と、誰も信じませんでした。しかし、ペテロとヨハネだけは、「もしかすると」と思って、お墓に向かって走りだしました。

二人は走りながら、「彼女たちは勘違いしたんじゃないか?」「イエス様は死んだんだよ。僕は三日前に死ぬのをこの目でちゃんと見たんだから。」とっていました。

二人はお墓に到着しました。お墓はマリヤの言うようにあいていて、大きな重い石はころがされていました。二人はびっくりしながらお墓にはいりました。はいると、イエス様のお体を巻いた布が、きちんとたたまれて置いてあるのを見ました。

本当にイエス様のお体はありません。二人は「わからない。とにかく帰ろう。イエス様のお体がなくなっていることは確かだ。」と言い町へ帰って行きました。

□結論 イエス様はよみがえられました

イエス様の復活は、本当にあったのです。そしてこの復活の事実があったからこそ、神様の救いが完成し、私たちは確かに罪赦され、主と共に生きる道が開かれたのです。

□適用（聞き手に最もふさわしい適用が与えられるように祈りましょう）

1. イエス様は今も生きておられます。そして天国から私たちをいつも見ておられます。それだけではありません。イエス様をお願いをすれば、私たちの心の中に住んで下さいます。そして目には見えなくても、私たちと一緒にいて下さるのです。私たちが信じている神様は、本当にすばらしいお方です。今日あなたもこのイエス様を信じませんか？
2. イエス様は十字架にかかり確かに死んだのです。死んだ人が生き返ることはありません。では、イエス様はなぜよみがえることが出来たと思いますか。それは、イエス様が神の子だからです。イエス様は、よみがえることによって死の力と罪の力に勝利をされたことを示されたのです。私たちは弱く罪に負けてしまいます。しかし罪の力に勝利をされたイエス様を信じるならば、私たちも罪に勝利することができます。今日あなたもこのイエス様を信じてお祈りをしましょう。

教 師 ノ ー ト

日付	2021年 4月11日
単元	イースター
テーマ	愛の回復をして下さる主
タイトル	あなたは、わたしを愛しますか
テキスト	ヨハネ21:15-22
参照箇所	ヨハネ18:15-18、25-27、マタイ26:31-35、マルコ14:66-72、ルカ22:31-34
暗唱聖句(教会で使用している聖書訳を記入して下さい)	Iヨハネ4:19
AG 日曜学校教案参照箇所	
<p>□導入</p> <p>イエスさまが十字架にかかられる時、ニワトリが鳴く前にペテロはイエスさまのことを3度知らないと言いました。ペテロにとっては、触れて欲しくない少し前の失敗の出来事でしょう。イエスさまを裏切り、失敗したペテロに、よみがえりのイエスさまは、どのように声をかけられたのでしょうか？</p> <p>□ポイント1 イエスさまは、ペテロに質問しました(15-17)</p> <p>イエスさまは、ペテロに「あなたはわたしを愛しますか」と質問しました。ペテロは、「はい。私があなたを愛することはあなたがご存知です」と言いました。イエスさまはペテロに同じ質問を3度しました。</p> <p>仲良くしている友だちが、別の人に私のことを「あの人のこと知らないよ。友だちじゃないよ」って言っているのを聞いたら、みんなだったらどう思いますか？ペテロがイエスさまのことを3度も知らないと言った時、イエスさまはどう思ったのでしょうか？またペテロはその時のことをどう思っているのでしょうか？</p> <p>普通の人だったら、「どうしてあの時、僕のことを知らないっていたんだい？」と言うかもしれません。でもイエスさまは3度も知らないと言ったペテロに対して、「あなたはわたしを愛しますか」と3度も言われました。イエスさまは、裏切られても赦し、愛し合う関係を大切にしているのですね。</p> <p>□ポイント2 イエスさまは、「わたしの羊を飼いなさい」と言われました(15-19)</p> <p>イエスさまは3度、ペテロに「わたしの羊を飼いなさい」と言われました。そして「他の人があなたの行きたくない所に連れて行きます」とも言われました。</p> <p>イエスさまのことを知らないと言ったペテロですが、イエスさまはペテロを信頼してイエスさまの働きを任せているのです。それはペテロが自分のやりたいことをするのではなく、ペテロの行きたくない所に連れていかれるようなことになるとイエスさまは言われました。しかしそのことを通して、神さまの栄光が現れ、神さまって素晴らしいと多くの人々が神さまを賛美するようになるのです。</p> <p>実際、イエスさまの十字架の時には人々の目を恐れてイエスさまのことを知らないと言ったペテロですが、よみがえりのイエスさまの言葉に励まされ、また聖霊の力をいただいて、イエスさまと同じように迫害されても、捕まえられても、それでも人々にイエスさまのことを伝える働きをしました。</p>	

□ポイント3 イエスさまは、「わたしに従いなさい」と言われました

イエスさまは、ペテロに「わたしに従いなさい」と言われました。ペテロは近くにいる弟子を見て「この人は、どうですか」とイエスさまにたずねました。イエスさまはペテロに「あなたはわたしに従いなさい」と再び言われました。

「この人はどうですか？あの人はどうですか？」と私たちは周りの人たちを気にしてしまうことがあります。でもイエスさまは「他の人ではなく、あなたはわたしに従いなさい」と言われました。

☞伝承ですが、ペテロの最後は逆さ磔(はりつけ)にされて殉教したとされています。映画「クオ・ヴァディス」(シェンキエヴィチ原作)なども迫害時代を生きたペテロたちの歴史背景を知るのに参考になります。

結論 イエスさまは、失敗した人も受け入れ、用いて下さいます

暗唱聖句を読み上げます

□適用（聞き手に最もふさわしい適用が与えられるように祈りましょう）

1. 「イエスさまを愛します」と告白しましょう

「イエスさまは、僕のことを愛してくれているだろうか？」と不安になる必要は全くありません。イエスさまの愛は永遠の愛なので、増えたり減ったりしません。大切なことは「あなたはイエスさまを愛していますか？」というイエスさまの質問に心から「主よ、愛します」と答えていくことです。私たちが心から「イエスさま、今日もあなたを愛します」と告白していくなら、私たちの毎日は変わってきます！

2. イエスさまのために何ができるでしょうか？

イエスさまを愛する人は、イエスさまに従い、イエスさまのために何かをすることができます。それは他の誰かと同じでなくても良いのです。愛するイエスさまのために今の私に何が出来るか、この1週間、イエスさまに聞きながら祈りましょう。そして来週、みんながどんなことを決心したか、聞き合いましょう。(先生は、小学生の時に、教会の犬を散歩に連れて行ったり、分級の準備や片付けを手伝ったりしたよ！)

3. ペテロのように失敗して、心を暗くしている友だちはいませんか？

自信を失っている友だちはいませんか？そういう友だちがいたら、「イエスさまがいるよ。裏切り失敗したペテロを励ましたイエスさまがいるよ。イエスさまは、立ちあがる力を与えてくれるよ」と励まし、祈り、教会に誘いましょう。

4. 仲が悪くなっている友だちはいませんか？

以前は仲良かったけれど、誤解や意地悪や失敗、裏切り、悪口、ケンカ・・・、そういうことで仲が悪くなっている友だちはいませんか？本当は仲良くしたいんだけど、そう出来なくなっている友だちはいませんか？私たちがあきらめないで愛してくれるイエスさまから、私たちも本当の愛をもらって、仲直りをする力をもらいませんか？

教 師 ノ ー ト

日付	2021年 4月18日
単元	イースター
テーマ	天に上られた主
タイトル	再臨の約束
テキスト	使徒1:1-11
参照箇所	ルカ 24:13-26, ヨハネ 14:2-3,16-17,26,15:26,16:7-16
暗唱聖句(教会で使用している聖書訳を記入して下さい)	ヨハネ14:3
AG 日曜学校教案参照箇所	

導入

みなさんは、「約束」をしたことがありますか? 「約束」は必ず守ることがとても大切なことです。最初から、守らない約束なんて、意味がないですよ。時々、みなさんのお父さんやお母さんは、約束を守らないと怒るでしょう? 反対にお父さんやお母さんが約束を守らないときも、みなさんは怒るんじゃないですか?

イエス様も最後の時に、お弟子さんたちと約束をしたのです。さて、どんな約束だったのでしょうか。

□ポイント1 イエス様は、よみがえった後多くの人々に会われました。

イエス様はよみがえられた後、40日の間にたくさんの人たちに会いました。

お弟子さんたちはもちろん、お墓に行ったマリヤも含めて、あちらでもこちらでもイエス様にお会いした人たちがいたのです。思い出して下さい。あのトマスの所にもイエス様は行かれました。

ある日のことです。二人のお弟子さんが、エマオという場所に行こうとしていました。一人の人はクレオパという名前でした。二人は、イエス様が十字架にかかって死なれた事が悲しくて、そのことをずっと話しながら歩いていたのです。そこに、イエス様が近づいて話しかけられました。二人は、イエス様が十字架にかかって死なれた事、またお墓の中がカラっぽになっていた事などを説明したのですが、そばにるのがイエス様だと、まったく気がつきませんでした。二人の説明が終わると、イエス様は二人に聖書に書かれているキリストについて、お話しになりました。そろそろ夕方になりそうです。もっと話を聞きたいと思った二人は、イエス様に泊まって下さるようお願いしました。でも、まだイエス様だと気がつきません。夕食の時、イエス様が祝福してからパンを裂いているとき、「イエス様だ!!」と分ったのです。その途端に、イエス様の体が見えなくなりました。でも、二人の心は喜びに溢れていました。イエス様とお話していた時に、二人の心が燃えていたのです。急いで他のお弟子さんたちの所に行って、イエス様にお会いした事を報告したのです。

□ポイント2 イエス様は、弟子達に約束をしました。

イエス様は、弟子達に約束をしていました。一つ目は、場所を用意して、また戻ってくるということです。(ヨハネ 14:2-3)聖書には、「あなたがたのために」と書かれています。そうです。私たちのために、天国に場所を用意して下さったら、もう一度戻って来てくださるということです。あなたの場所もきっと用意されていますよ。

二つ目は、聖霊があなた方のところに来られるということです。そのためにエルサレムを離れないようにとイエスさまは命じられました。

□ポイント3 イエス様は、天に上げられました。

イエス様がお弟子さんたちに約束を伝えた後、みんなのいる前で天に上げられ、雲に包まれ見えなくなりました。あっという間の出来事でした。そこには、たくさんの人たちがいたと思われます。イエス様はどこに行ってしまったかとビックリしたでしょうね。みんなが、いつまでもずっと空を見上げていたので、御使いが言いました。「ガリラヤの人たち。なぜ天を見上げて立っているのですか。あなたがたを離れて天に上げられたこのイエスは、天に上って行かれるのを見たときと同じ有様で、またおいでになります。」(使徒1:11)

御使いの言葉に注意して下さい。「またおいでになります。」と言ったのです。御使いもイエス様がまた、来られると言いました。イエス様がお弟子さんたちに約束したことと同じです。

*低学年の子ども達に話す場合は、イエス様が天に上げられる様子を言葉だけでなく、その場に自分がいるような気持ちで演技してみてください。子ども達が、この情景を描けるように話しましょう。

□結論 私たちの主キリストは、再び来られます。

暗唱聖句を読み上げます

□適用（聞き手に最もふさわしい適用が与えられるように祈りましょう）

イエス様がお弟子さんとした約束は何でしたか？ 天国の場所を用意したらもどってくる事、まもなく聖霊が来られる事でした。

イエス様は、みなさんのために天国の場所を用意して下さっています。あなたのための場所です。そして、イエス様が戻って来られるまで、聖霊が私たちの所に来て下さると約束なさいました。実は、聖霊はもう来ておられます。このお話は、来週しましょう。

イエス様が、天国の準備が終わって、また来て私たちを迎えに来て下さる時まで、イエス様を信じ続けて行く事ができるように、聖霊が私たちを助けて下さいます。この約束は、お弟子さんたちだけにした約束ではありません。イエス様を信じる私たちの約束でもあります。

イエス様は、約束した事を必ず守る方です。イエス様が来られる日まで、イエス様から離れないようにしましょうね。

教 師 ノ ー ト

日付	2021年 4月25日
単元	イースター
テーマ	キリストの昇天
タイトル	聖霊のバプテスマの約束
テキスト	使徒1:3-11
参照箇所	ヨハネ20:24-29
暗唱聖句(教会で使用している聖書訳を記入して下さい)	使徒1:8
AG 日曜学校教案参照箇所	小下 2 巻4題 13 課

□導入

素晴らしい生き方をした人は、立派なお墓があります。でもイエス様にはお墓がないのです。墓跡はあるのですが、お墓はありません。どうしてだと思いますか？

□ポイント1 復活されたイエス様は、弟子たちにお会いになりました(1:3)

イエス様の復活は、伝説や作り話しではありません。40日間という具体的な期間、最初はイエス様の復活を信じられなかった弟子たちに現れ、甦ったこと、生きていることを数々の証拠によってお示しになりましたのです。

☞数々の証拠として、信じられなかったトマスに手のひらを見せて十字架の釘痕(くぎあと)を示したこと(ヨハネ 20:24-29)、イエス様の言うとおりに舟の右側に網をおろすと 153 匹のおびただしい魚が獲れたこと(ヨハネ 21:1-14)、500 人以上の人々に現れたこと(I コリント 15:6)などを紹介しても良いでしょう。

☞聖書に記されているイエス様の奇跡である「死人の生き返り」と、イエス様自身の「死からの甦り・復活」は、違うということを前提にお話ししましょう。「死人の生き返り」を体験した人も、癒された後やがて死にました。しかしイエス様は神の子として、死人の初穂として、甦られ、今も生きておられます。

☞イエス様が今も生きておられることは、各人に一番分かりやすい方法でイエス様はお示しになります。どんなことを通して、イエス様が今も生きておられることを体験したかを教師自身の証しとして分かち合っても良いでしょう。例えば、祈りが応えられたこと、事故から守られたこと、癒されたことなどなど。

□ポイント2 イエス様は弟子たちに約束されました(1:4-8)

イエス様はやがて天に昇られるのですが、私たちを置いて一人ぼっちにしたわけではありません。もう一人の助け主である聖霊によって満たされて(聖霊のバプテスマ)、聖霊の力を受けることを約束しました。聖霊の力を受けると、イエス様が甦ったこと、今も生きておられることを人々に証する証人になることができます。

イエス様は聖霊の力を受けるといふ約束をされました。聖霊なる神様は、私たちの目には見えませんが、イエス様を信じる人の心に住んで下さり、力を与えてくれます。だから私たちは「イエス様がどこかに行ってしまった」とか「目に見えないから生きていないんじゃないか」と思う必要はありません。聖霊の力を受けられることができます。人間の約束は、守られないこともあります。イエス様の約束、父なる神様の約束は、必ず成就(実現)します。

☞「力」は、「デュナミス」という言葉が使われ、ダイナマイトの語源となった言葉です。しかし破壊的な力というよりも、長血の女性がイエス様の衣に触った時にイエス様から出た力(ルカ 8:46)、救いを得させる神の力(ロマ 1:16)も同じ言葉が用いられており、人を癒し、建て上げ、救う、大きな大きな力です。

□ポイント3 イエス様は、天に昇っていかれました(1:9-11)

イエス様は弟子たちに約束をされた後、みんなの見ていた前で天に上げられ、雲に包まれて見えなくなっていました。しばらく天を見上げていた弟子たちのそばに、白い衣を着た人が2人立っていました。そして「もう一度、今見たような様子で、イエス様はおいでになられます」と言いました。

天とは、空の上のどこか、宇宙のどこかということではなく、父なる神様のおられるところのことです。イエス様は何となくどこかに行かれたのではなく、父なる神様のそばにおられるのです。そしてイエス様は天に昇って行かれてそのままずっと天におられるのではなく、もう一度天からおいでになります。

☞イエス様が天で何をされているのかという疑問があるようであれば、神様の右に座して私たちのために祈りとりなして下さっている(ロマ8:34)と語るのも良いでしょう。

☞「千の風になって」(新井満・作)という歌があります。日本人の心の琴線に触れるものかもしれませんが、死ねば、大自然に帰り、そこでまた生まれ変わるというのは、輪廻転生的な思想で、聖書の復活の教理からはずれたものです。アニメなどの影響で「生まれ変わり」があると思っている小学生も多いようです。「生まれ変わり」や「前世」と「復活」は違うということ、またキリスト教は「靈魂不滅説」ではなく、肉体をもって栄光の体に復活することも教師は理解しておく必要があります。

□結論 イエス様は、確かに甦られ、天に昇られ、もう一度お出でになります。

イエス様の復活は作り話ではなく真実です。そして私たちをほったらかしにして、どこか遠いところに行ってしまったのではなく、天に昇られました。地上にいる私たちには聖霊の力が与えられ、やがてもう一度イエス様は来られるのです。

□適用 (聞き手に最もふさわしい適用が与えられるように祈りましょう)

1) イエス様が今も生きておられることを信じていますか？

イエス様は死んでいなくなった神様ではなく、今も生きておられることを感謝しましょう。

2) イエス様が今も生きておられることを信じられない人がいたら、一緒にお祈りをしましょう。

イエス様は弟子たちに一番分かりやすい方法で、イエス様が甦ったこと、生きておられることを示されました。信じられない人は、「イエス様が生きておられることを、僕にも分かるように体験させて下さい」と一緒に祈ろう。約束の聖霊が働いて、きっとイエス様を体験することができます。

3) 聖霊の力を頂こう。

イエス様が生きておられることを体験した人は、そのことを友だちにお話ししよう！そのための勇気や力を聖霊なる神様が与えてくれます。